データに基づく
政策立案と効果測定

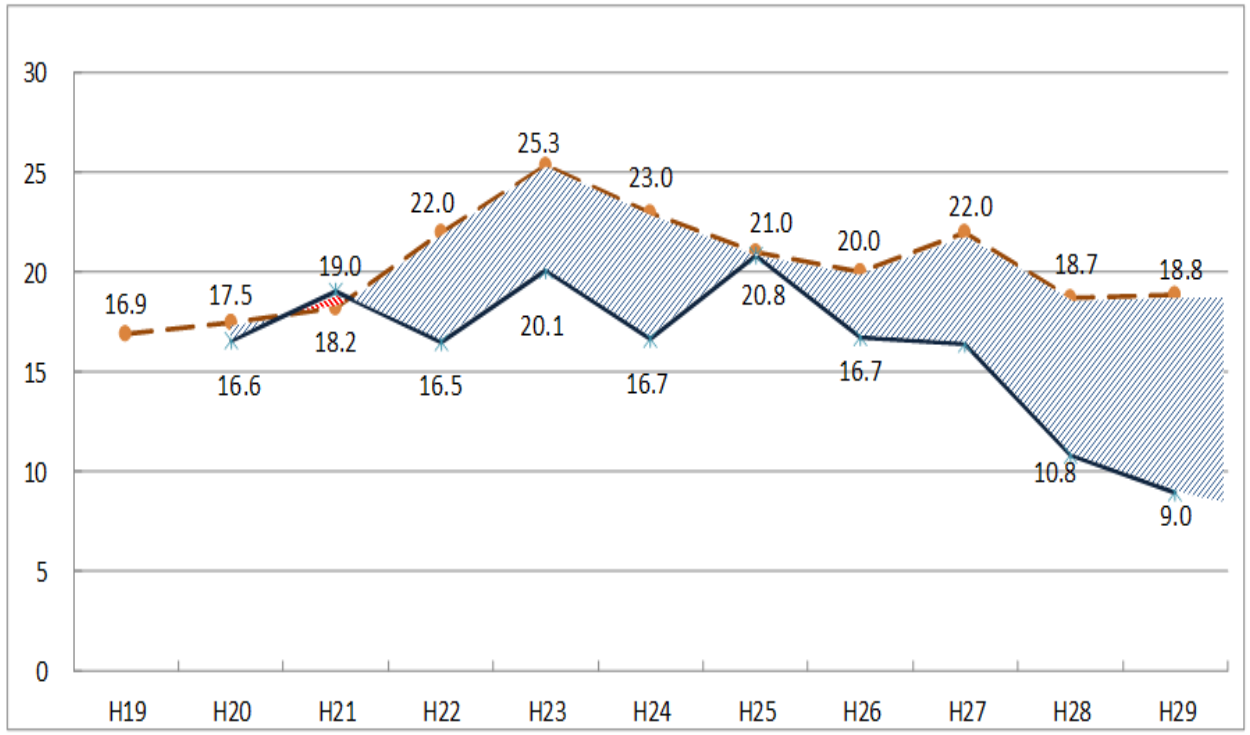
2018年1月16日

岡山県　特命参与（情報発信担当）
佐賀県　情報エグゼクティブアドバイザー
（前最高情報統括監(CIO)）
森本　登志男

【佐賀県の事例】全国最先端の電子県庁を構築 (2011~2016)

情報システムコストを４４億円削減

最先端電子県庁の推進による情報システムコスト削減



最先端電子県庁構築推進事業 進捗状況

情報化推進計画：H21年3月策定

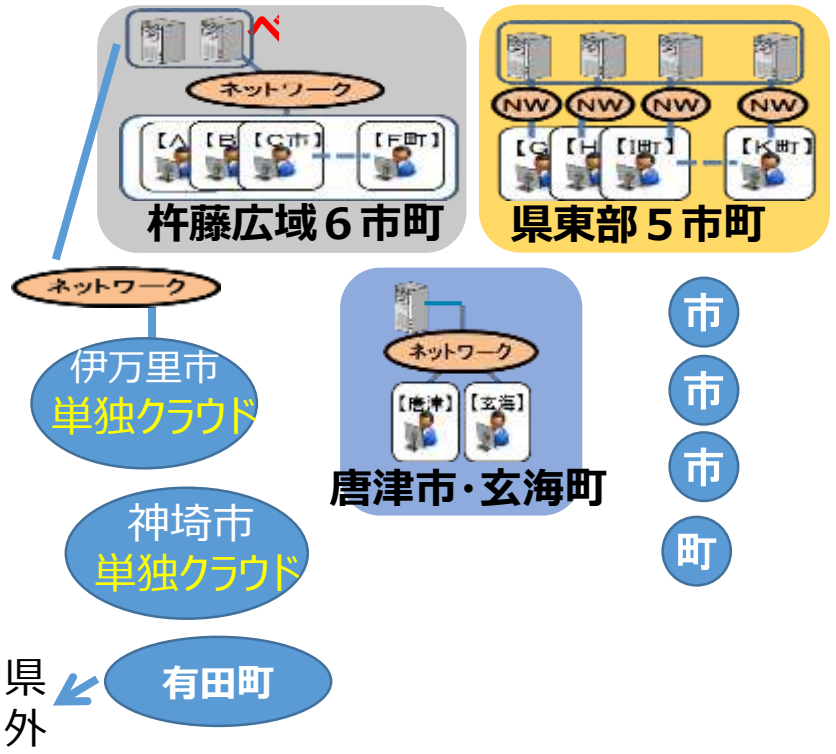
システム等＼年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
職員ポータルシステム等	設計・開発		運 用				システム更新		運 用	
財務経営システム		設計・開発			運 用					
職員・給与システム				設計・開発			運 用			
県税システム					設計・開発				運 用	
小規模業務システム			設計・開発			運 用				
その他システム（サーバ統合等）				サーバ統合、アプリケーション統合等 ※システムの更新時期などに応じて実施						
人材育成		研修・OJT・情報処理技術者試験								

10年間で**約44億円**（21%）削減見込
今後２年間（H28~H29）で**約17.8億円**（47%）削減見込

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

【佐賀県の事例】市町基幹情報システムのクラウド化

ITコスト約６億円削減



課題

- ○ベンダー依存体質
- ○市町におけるIT関連職員が質量ともに不足
- ○市町個別の対応/全体戦略の不在
- ○変化に対する原課の抵抗
- ○予算獲得

杵藤広域３市３町
（武雄市、鹿島市、嬉野市、大町町、江北町、白石町）
自治体クラウド

基幹系：４０%削減
（△約6.5億円）

北部地区１市１町
（唐津市、玄海町）
自治体クラウド

基幹系：５１%削減
（△約6.7億円）
内部系：５５%削減
（△約7.5千万円）

事業成功のポイント

- ○**首長**：トップダウンでの意思決定
- ○**外部人材**：ベンダーと渡り合える専門家
- ○**対ベンダー戦略**：全市町共同でのRFI実施
- ○**原課対策**：全市町の原価担当者
- ○**予算獲得**：既存予算による更新
- ○**新技術導入**：クラウド
- ○**実施体制**：県主導のもと、全市町で連携

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

【佐賀県の事例】救急医療の現場でICTを活用、救急搬送時間を短縮 (2011~)

全救急車にiPad配備
救急搬送時間を１分短縮（34.3分→33.3分）

救急病院に電話をかけ続ける

iPadで即座に情報を確認

教科書掲載（小学５年生・社会科）

短期間に全国に伝播

TBS「夢の扉＋」（全国放送）

担当した職員が書籍上梓

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

【佐賀県の事例】県庁全職員がテレワークで業務改革とWLB向上 (2014~)

H26.10月から県庁全職員（約4000名）がテレワークを実施

勤務所属

一人1台PC

外出先

モバイル端末導入

自　宅

リモートアクセス

サテライト・オフィス

県内外13→15か所設置

H28.2月に＋2か所設置（県内）

ICT基盤の整備

- 庁内システムへのアクセス
- コミュニケーションツール
- 写真動画送信・共有
- プレゼンテーションアプリ
- WEB会議システム

テレワーク推進賞　最高賞を
自治体で初めて受賞

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

【佐賀県の事例】民生委員によるタブレット活用で地域の見守りの高度化 (2014)

Microsoft <クラウドサービス>
・Windows Azure

NTT docomo
<高速ネットワーク>
端末とクラウドをドコモのLTE
サービス「Xi(クロッシィ）」
で接続

木村情報技術株式会社
KIMURA INFORMATION TECHNOLOGY Co.,Ltd.

住民の方の情報を管理
・地図サービス Bing Map と
連携

intel

住民に役立つ情報を
タブレットで提示

活動報告を記録、
クラウド上で管理

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

【佐賀県の事例】ショッピングサイト出店支援事業でスター店舗を輩出(2012~)

楽天とのコラボで、県内の小売や卸事業者に
ショッピングサイト出展のノウハウを提供
月商が倍増する事業者が続出

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

【佐賀県の事例】全国的な動画作成ムーブメントの魁　(2013)

「恋するフォーチュンクッキー　佐賀県庁Ver./AKB48［公式］」が230万再生

自治体で最初に動画を公開。インターネットで話題を呼んで、全国ネットのテレビや新聞でも紹介。

数百の地域が追随する 一大ムーブメントの火付け役となった。

Play count
Over 2.29
Million times

AKB48 から、ビデオアワード
「早かったでしょう」受賞

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

【佐賀県の事例】現存しない建物を再現 ヴァーチャル名護屋城　(2014~)

名護屋城跡、陣跡、城下町を巡る城跡等案内ソフト（城CG、AR等）の整備を図り、博物館と城跡等を一体とした魅力ある地域資源として、県内外に情報を発信し、来館者の増を図る。

名護屋城天守

現状

- 名護屋城跡
  - ＜年間　約4万人の入場者＞
  - ・博物館の展示や名護屋城跡の総合的な情報を十分知ってもらえないまま帰られる方がいる。
- 名護屋城博物館
  - ＜年間　約8万人の入館者＞
  - ・滞在時間が短く、城跡の見学をされずに城跡の景観・歴史的魅力を知っていただけないまま帰られる方が多い。

事業内容

○“福岡城を超える”城跡案内システム
○城CG・ARの作成等
○館内映像の充実

- ○スマートフォン・タブレット利用の城跡散策システム
- ○CGやARにより再現された名護屋城等を体感しながら、城跡等を案内し、博物館に集客する仕組みづくり
- ○天守閣などの建物再現、天守閣からの眺めのバーチャル再現（城下町や陣屋、玄界灘等）
- ○当時の城や陣屋を体感できる高精細の映像を作成
- ○館ホール等の大画面で高精細映像を上映

博物館を始点・終点とした博物館の集客増の仕組み地域との連携

○ タブレット等を活用し、当館を起・終点とした城跡の見学を推進し、当館への入館者やリピータを増やす仕組みを作る。また、肥前名護屋歴史ツーリズム協議会など地域との連携を進め、当館の集客増と地域活性化に資する。

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

【佐賀県の事例】データサイエンティストによる政策へのデータ活用　(2014~)

ニュース　日経コンピュータ

データサイエンスを行政の現場に、まずは救急医療データを可視化――佐賀県の工藤氏が講演

都道府県CIOフォーラム第12回年次総会

2014/08/29

シェア　ツイート　B! ブックマーク

8月25、26日に佐賀市で開催された都道府県CIOフォーラム第12回年次総会で、佐賀県Do-IT！プロジェクト責任者の工藤卓哉氏（アクセンチュア　アナリティクス日本統括マネジングディレクター）が、行政の現場におけるデータサイエンスの活用について講演した（写真）。

工藤氏が佐賀県のプロジェクト責任者の

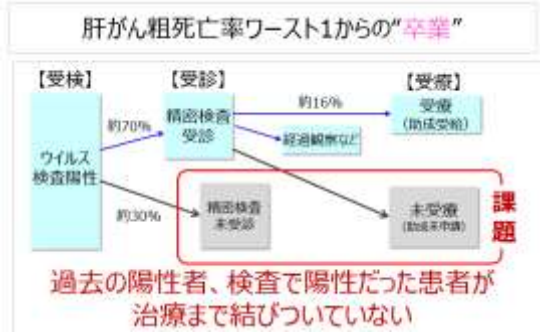
佐賀県　救急車の効率運用　横須賀市　税

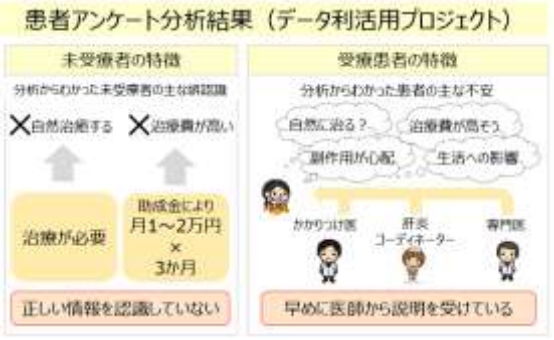
データ活用で自治体

27

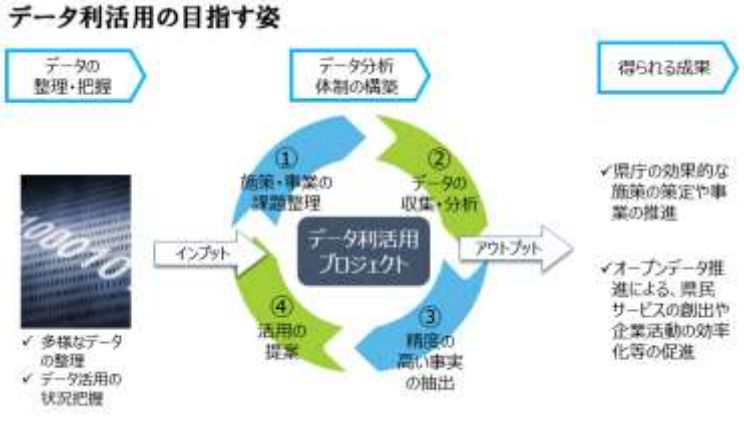
次の施策検討する材料

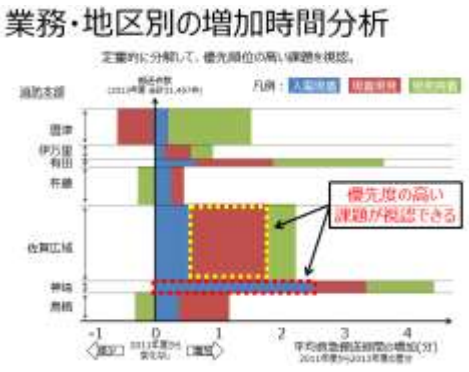
大量データの活用

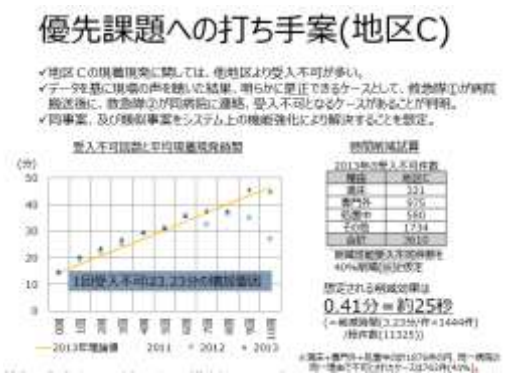




第１回　「地方公共団体における統計利活用表彰」　で
総務大臣賞受賞







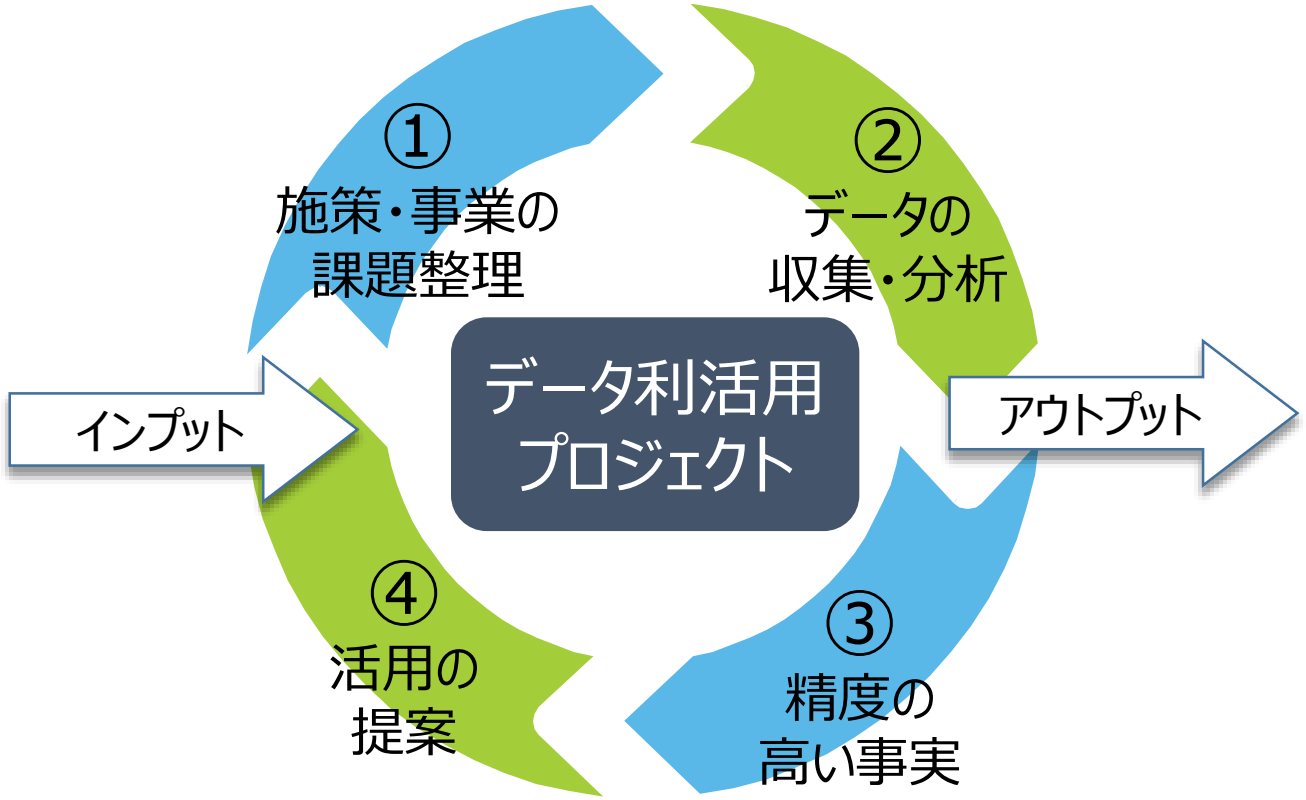
Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

データ利活用の目指す姿

データの
整理・把握

- ✓ 多様なデータの整理
- ✓ データ活用の状況把握

データ分析
体制の構築



得られる成果

- ✓県庁の効果的な施策の策定や事業の推進
- ✓オープンデータ推進による、県民サービスの創出や企業活動の効率化等の促進

【佐賀県の事例】救急医療の現場でICTを活用、救急搬送時間を短縮 (2011~)

全救急車にiPad配備
救急搬送時間を１分短縮（34.3分→33.3分）

救急病院に電話をかけ続ける

iPadで即座に情報を確認

教科書掲載（小学５年生・社会科）

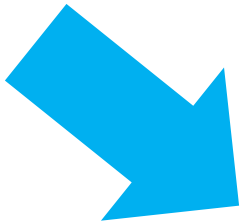
短期間に全国に伝播

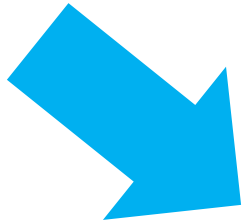
TBS「夢の扉＋」（全国放送）

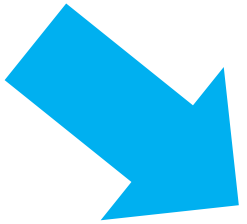
担当した職員が書籍上梓

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

2011年、佐賀県は救急医療情報システム(愛称：99さがネット)を改修し、
救急車にタブレット端末(iPad)を配備することで、救急現場の可視化を実現した。
この他、「搬送受入基準」の作成等の関係者の努力もあり、全国的に
平均搬送時間が増加傾向にある中で、初めて平均搬送時間の短縮に成功した。

①搬送時間 

②搬送集中 

③運用費用 

佐賀県庁でのテレワーク　「どこでもデスクと同じ環境に」

勤務所属

一人1台PC

外出先

モバイル端末導入

自　宅

リモートアクセス

サテライト・オフィス

県内外13か所設置

ICT基盤の整備

- 庁内システムへのアクセス
- コミュニケーションツール
- 写真動画送信・共有
- プレゼンテーションアプリ
- WEB会議システム

2014年10月から県庁全職員（4000名）がテレワークを実施可能に

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

テレワーク推進で期待される効果

全庁テレワークの実施

ワーク・ライフバランス実現
通勤時間短縮
自己啓発促進

優秀な人材の確保
育児等離職防止
採用条件拡大

サービスの質の向上
動画・写真活用
機敏な対応

業務効率化
訪問件数増加
すきま時間活用

環境負荷の軽減
ペーパーレス化
通勤CO2削減

災害時等の対応力向上
災害対応
新フル対応

県民満足度の向上

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

テレワークの効果の実例（2）　台風直撃時の業務継続

台風15号（H27.8.25）の際のテレワーク

H27.8.25
佐賀新聞

接続数の推移

・台風当日は職員の約10%弱がテレワーク
（朝から約300人弱が在宅やモバイルから仮想デスクトップに接続）

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

テレワークの効果の実例（3） 大雪時の業務継続

大雪（H28.1.25）の際のテレワーク

<県内大雪> 記録的寒気　佐賀市３５年ぶり真冬日

２５日、ほとんどの小中学校で休校

2016年01月25日 09時23分

佐賀県内は２４日、上空に記録的な寒気が流れ込み、各地で大雪となった。佐賀市の最高気温はマイナス０・６度で３５年ぶりに０度を下回る「真冬日」となり、１８９０年の統計開始以降４番目の低さだった。降雪量は最大７センチを観測。交通機関に影響が出て、路面凍結などによる交通事故も相次いだ。

■災害情報気象・交通・ライフライン情報リンク集

佐賀地方気象台によると、九州北部の上空約

H28.1.25
佐賀新聞

接続数の推移

・大雪当日は職員の10%超がテレワーク
（400人を超える職員が在宅やサテライト、モバイルからテレワーク）

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

外部からの評価

佐賀県が「テレワーク推進賞」最高賞

自治体で初受賞

2016年02月17日 10時15分

宇治会長（左から２人目）から記念の盾を贈られた山口知事（中央）ら＝東京都新宿区の京王プラザホテル

ＩＣＴ（情報通信技術）を活用して場所や時間にとらわれない働き方を推進する「テレワーク推進賞」の最高賞・会長賞に佐賀県の取り組みが選ばれ、山口祥義知事が１６日、都内で表彰を受けた。全職員が実際に在宅勤務を経験、業務の効率化や災害対応に効果を上げている点が高く評価された。

一般社団法人日本テレワーク協会（宇治則孝会長、１６５企業・団体）が主催し、会長賞に佐賀県とリクルートマーケティングパートナーズ（東京）を選んだ。自治体では初の受賞。

佐賀県は２００８年にテレワークを導入した。在宅勤務や、自宅から近いサテライトオフィスで働ける環境の整備を進めてきた。育児・介護による職員の離職を防いだり、県民に提供する災害情報の迅速化などに効果を上げている。

審査委員長を務めた比嘉邦彦東京工業大学教授は「先駆者であり、しかも継続し、拡大している非常に優れたケース。受賞は遅すぎたくらいだ」と高く評価した。山口知事は「役所で取り入れる難しさはあるが、乗り越えれば効率的に素晴らしい仕事ができる。育児支援や

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

モバイルワーク推進実証事業（2013年8月~14年２月）

取組事例　（園芸課）

〔調査前〕

必要資料

〔調査実施〕

事務手続き
確認作業

現地確認

〔調査後〕

調査報告

使用したアプリ

Receiver

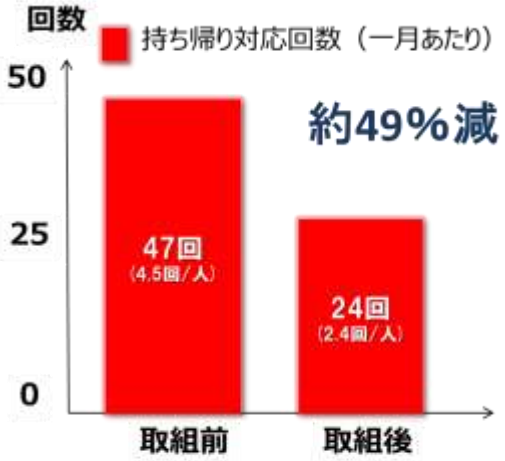
GoodReader

PrimeDrive

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.

テレワークの効果

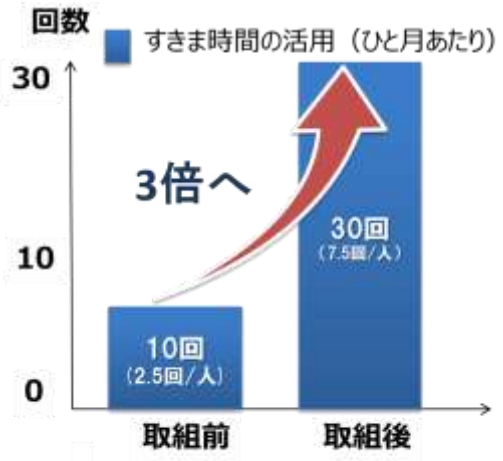
その場で解決



佐城農業改良普及センター

（農産課、商工課、唐津農林事務所、工業技術センターで同等の報告）

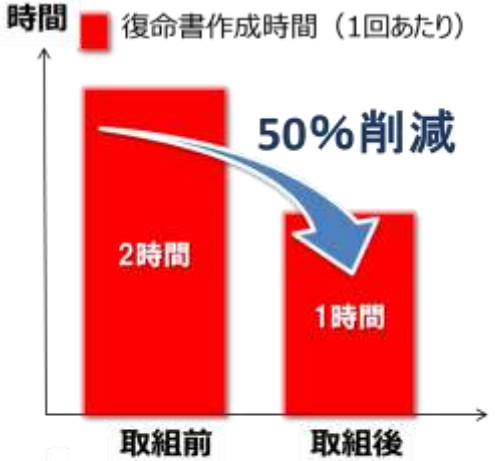
業務報告を迅速に



危機管理・広報課（東京オフィス）

（農産課、佐城農業改良普及センター、茶業試験場
唐津農林事務所、職員課が同等の報告）

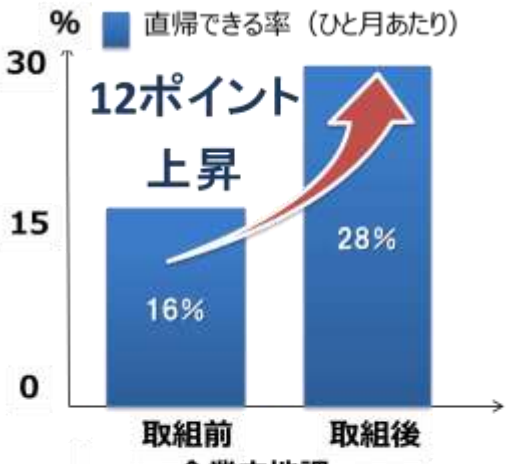
事務作業を効率的に



新産業・基礎科学課

（循環型社会推進課、医務課、秘書課、園芸課、
産業技術学院等で同等の効果の報告）

ワークライフバランスにも効果



企業立地課

（秘書課、企業立地課、農産課、西松浦農業改良普及センター、
杵島農業改良普及センター、唐津農林事務所で同等の報告）

Copyright (C) 2016 森本登志男/Toshio Morimoto All Rights Reserved.